

出生証明書

◎夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

子の氏名			男女の別	1男	2女
生まれたとき	令和 年 月 日 午前 時 分 午後				
出生したところ及びその種別	出生したところの種別	1病院 4自宅	2診療所 5その他	3助産所	
	出生したところ	番地 番 号			
	{出生したところの種別1~3} 施設の名称				
体重及び身長	体重	身長			
	グラム	センチメートル			
単胎・多胎の別	1単胎 2多胎 (子中第 子)				
母の氏名			妊娠週数	満 週	日
この母の出産した子の数	出生子 { この出生子及び出生後死亡した子を含む } 死産児 (妊娠満22週以後)				人 胎
1医師 2助産師 3その他	上記のとおり証明する。 (住所) (氏名)		令和 年 月 日	番地 番 号	

記入の注意

鉛筆や消えるボールペンなどで書かないでください。

子が生まれた日をふくめて14日以内に出してください。

子の名は、常用漢字、人名用漢字、かな、ひらがなで書いてください。

子が外国人のときは、原則かなで書くとともに、住民票の処理上必要ですから、ローマ字を付記してください。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)にも用いられます。

出生証明書の記入の注意

出生証明書(11)欄の体重及び身長は、立会者が医師又は助産師以外の者で、わからなければ書かなくてもかまいません。

出生証明書(14)欄のこの母の出産した子の数は、当該母又は家人などから聞いて書いてください。

この出生証明書の作成者の順序は、この出生の立会者が例えば医師・助産師ともに立ち会った場合には医師が書くように1.2.3の順序に従って書いてください。

連絡先	電話 () 番 自宅・勤務先・携帯
-----	-----------------------

この欄は父、母又はその法定代理人である届出人が記載してください。

地方公共団体情報システム機構 宛
(出生届の届出地区町村長 宛)

個人番号カード交付申請書 兼 電子証明書発行申請書

申請にあたり、以下について記入してください。

☑氏名、住所、生年月日、性別は出生届に記載された内容と同じです

☑住所または住所以外の希望した送付先にて確実に個人番号カードを受けとれます

①利用者証明用電子証明書暗証番号					☐利用者証明用電子証明書の発行を希望しない
②住民基本台帳用暗証番号【必須】					③券面事項入力補助用暗証番号【必須】
④個人番号カード送付先【住所地以外への送付を希望する場合】					
⑤住所地において個人番号カードの送付を受けることができない理由					
⑥連絡先電話番号【必須】					

(注)

①利用者証明用電子証明書を利用するための暗証番号です。

利用者証明用電子証明書……インターネットを閲覧する際に、利用者本人であることを証明する仕組みであり、健康保険証としての利用などに必要です。

利用者証明用電子証明書の発行を希望しない場合、①の欄に暗証番号は記入せず、☐に✓をつけてください。

②住民票コードをテキストデータとして利用するための暗証番号です。

③個人番号や基本4情報を確認し、テキストデータとして利用するための暗証番号です。

④個人番号カードは、簡易書留等により住所地へ送付されます。住所地以外の地を個人番号カードの送付先とする場合のみ記載してください。

※出生届、出生証明書に記載された事項は、この申請にも用いられます。

※電子証明書について、氏名のコンピューター入力に際して画面上に正確に表示されない文字(代替対象文字)は、代替文字に置き換わります。

代替文字を変更したい場合は、個人番号カードの交付後に、住所地区町村長へその旨を申し出てください。

出生届

※「消えるボールペン」で記入しないでください。

令和 年 月 日届出

滋賀県長浜市長殿

(1) 生	子の氏名 (フリガナ) (外国人のときはローマ字を付記してください)			父母との 続き柄	☐嫡出子 (☐男 ☐女) ☐嫡出でない子
		氏	名		
(2) ま	生まれたとき	令和 年 月 日		☐午 前 ☐午 後	時 分
(3) れ	生まれたところ	☐ 出生証明書中 (10) 欄「出生したところ」に同じ			
(4) た	住 所 (住民登録を するところ)	(よみかた) マンション名等			
		世帯主との続き柄 子			
(5) 生	父母の氏名 生年月日 (子が生まれた ときの年齢)	父	母		
	☐昭和 ☐平成	年 月 日 (満 歳)	☐昭和 ☐平成	年 月 日 (満 歳)	
(6) ま	本 籍 (外国人のときは 国籍だけを書い てください)	番地 番			
	筆頭者の氏名				
(7) れ	同居を始めたとき	☐ 令和 年 月 {結婚式をあげたとき、または、同居を始め} ときのうち早いほうを書いてください			
(8) た	子が生まれた ときの世帯の おもな仕事と	☐1.農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 ☐2.自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 ☐3.企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) ☐4.3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) ☐5.1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 ☐6.仕事をしている者のいない世帯			
		(国勢調査の年の4月1日から翌年3月31日までに子が生まれたときだけ書いてください)			
(9) の	父 母 の 職 業				
父	父の職業	母の職業			
	母の職業				
と	その他				
母	その他				
	その他				
届	☐父 ☐1.母 ☐6.その他の立会者	☐2.法定代理人 ()		☐3.同居者 ☐4.医師 ☐5.助産師	
	☐7.公設所の長				
出	住所 ☐(4)と同じ				
	本籍 ☐(6)と同じ	番地 番	筆頭者の氏名	☐(6)と同じ	
人	署名 (※押印は任意)	印	☐昭和 ☐平成	年 月 日	生
	印				

出生届の手続について、悩みや困りごとがあれば、お近くの市区町村又は法務局にご相談ください。出生届を届け出なければ、その子の戸籍がつくられず、不利益を被るおそれがあります。

詳しくは法務省のホームページをご覧ください。 [無戸籍 法務省](#) [検索](#)

本
届
書
中

字
加
入
字
訂
正
字
削
除

新
聞
掲
載

可・否